

CARREL

2023
Vol.348
定価550yen

4

キャレル

／ もっと深く、もっと豊かに
新潟ライフを輝かせる



ランチに
出かけて
みませんか

春の

おいしいごはん。

特集●
保存版。キャレルで掲載した新潟近県の桜の名所を全部掲載!

新潟から行ける 近県の桜名所案内

シリーズ●古い家を直して暮らす。
子どもの頃の家に、
もう一度「ただいま」。

シリーズ特集●ひとりで豊かに新潟で暮らすには
おひとり同士委員会【その三十六】
おひとりの老後。最終的に施設に入る?
自宅ですっと住み続ける? その2

クッキング●新玉ネギの使い切りレシピ
ゼロからの菜園生活●「ブルーベリー」

生活コンシェルジュ●
家の「耐震診断」の費用はどれくらい?

キャレルインタビュー●
茂山 逸平さん(狂言師)

春の おいしい ごはん。

うらかな陽気に誘われて、
出かけたくなります。
街歩きをしながら
おいしいランチを。
新しくできたお店や
なじみのお店の看板メニュー、
どれも食べたくなっています。
そんな、おいしいごはんを
紹介します。



し字のカウンターの先に
テーブル席。居抜きで入っ
た店にアレンジを加え落
ち着いた空間に、シェフの
イタリアでの思い出があち
らこちらに

ワインセラーにはイタリアの小さ
な村のワインが豊富に。トレンド
はオレンジワインやナチュラル
ワイン。ボトルは4,000円台～



窓側のテーブル席も心が
温まるような空気感。昼は
柔らかな日差しが心地いい



ランチの前菜盛り合わせが
感動もので、夜の前菜への
期待がふくらむ。グランドメ
ニューは少なく、その日の食
材で決まる料理が多い



「料理に合わせるワインに
迷ったら、何なりと聞いてく
ださい」とシェフでありソム
リエの齋藤友哉さん

このメニューは？
『ランチb』
2,200円
前菜、スープ、パスタに飲み物
が付く。パスタは4種類から選
べ、こちらは菜花とシラスのカ
ラスミオイルソースのパスタ



【data】
Tel.025-278-3049
住◎新潟市中央区米山
1-7-8 2F
営◎11時30分～14時(13
時LO)、18時～23時(22
時料理LO、22時30分ド
リンクLO)
休◎水曜、他不定休
P◎なし

ランチ

『ランチa』(1,650円)、
『ランチc』(3,500円、2
人以上前日まで予約)

ディナー

アラカルト600円～
2,000円台、コース2種
類4,600円～(2人以上
前日まで予約)

け出しの美容師でしたが、イタリアワイン
が好きでそれに合わせる料理を自分で作
ろうと思つてこの世界へ。新潟市内で料理
を学び、本場を知ろうとイタリア・トス
カーナへ。3店で働き、土地の食材が持つ強
い力を生かした調理に、イタリア料理は
郷土料理を愛感。新潟に戻り、2018年
に店を開いた。イタリア料理の基本に添い
つつ、その範疇で僕なりに遊んでみたい。イ
タリア人に食べてもらっても恥ずかしくな
い、現地に行つてみたいと思わせる、そんな
料理とワインを提供し続けたいです。
ソムリエでもある齋藤さんは、気になる
ワインは必ず飲んで確かめる。イタリアは
村ごとにぶどうの品種がたくさんあり、掛
け合わせられ新しいワインが次々と誕生し
ています」と楽しみに語る。ボトルは手が
出しやすい価格から、グラスワインも選択
の幅が広い。今度は友人を誘つてと思うが、
また一人ですぐにも行きたくなっている。

おいしいワインとイタリア料理を一人で
も気後れせず楽しめる。ここはカウンタ
ーがゆったりとして、やや暗めの照明、アン
ティークな雰囲気。肩の力がほつと抜ける。
訪れたのはランチタイム。前菜がいただ
ける「ランチb」をオーダーし、せっかくな
らとワインもお願いする。「前菜に合わせ
るなら白がおすすです」と女性スタッフ
のアドバイス通り、一品二品がワインに合い、
特にゴルゴンゾーラのムーースとの相性は抜
群。スープ、パスタと続き、エスプレッソで締
めて満ち足りた気分。次は夜にきたい
が、コース仕立ての「ランチc」(要予約2人
以上)はディナー同様に楽しめそうでそれ
もいい。

ワイン好きシェフが
作る料理に
どんなワインを
合わせるか

新潟市中央区 VINOLENTO
ういのれんと

《保存版》
 キャレルで掲載した
 新潟近県の
 桜の名所を
 全部掲載!

新潟から行ける

近県の桜名所案内

桜のつぼみがふくらみ、開花の便りが届くと春到来を実感します。
 昨年の4月号では、キャレル創刊30周年記念として「新潟の桜見聞録」と題し、
 県内93カ所の桜を一挙にご紹介しました。
 今年は2003年から掲載してきた県外の桜です。
 まずは福島県の三春滝桜から。



福島県
田村郡三春町

【三春滝桜】

2003年
4月号
掲載

大正11年(1922年)に桜の木として初の国の天然記念物に指定された名木。名だたる画伯がこの桜をモデルに絵を描いている。四方25m以上に伸びた枝から、薄紅色の小さな花を無数に咲かせ、流れ落ちる滝のように見えることから「滝桜」と呼ばれるようになったとも。岐阜県・根尾谷淡墨桜、山梨県・山高神代桜(P50)とともに日本三大桜の一つに数えられる。三春町を代表する桜として、滝桜の保護・保存や周辺環境の整備、来場者の受け入れ体制充実のため、開花宣言翌日から葉桜になるまでの間は観桜料(300円)が必要。



【見頃】4月上旬～中旬
 【種類】エドヒガン系ベニシダレザクラ
 【所在地】福島県田村郡三春町滝字桜久保地内
 【問】三春まちづくり公社 観光部 ☎0247-62-3690
 【P】850台 無料
 【アクセス】車/磐越道郡山東ICから約30分、船引三春ICから約20分(混雑が予想されるため三春町運動公園から滝桜駐車場までの無料シャトルバス運行予定)
 【ライトアップ】開花期に合わせて18時～21時

